

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社 丸立

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		自然環境や生活環境の保護に注力しており、廃棄物や有害化学物質の適切な管理を徹底している。			3.9			6.3				11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		昨年より電力やガソリンの使用量を計測しており、省エネタイプの車両や工事仕器への入れ替えを進めている。							7.3						13								
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートによりCO2排出量を把握している。 毎年5%の温室効果ガス排出量の削減を目標設定。オフィス環境、工事で使用する車両や工事機器の入れ替えにより推進している。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4		13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		河川工事における汚濁流出フェンス設置等、生物多様性や生態系への配慮を行っている。環境保全に関わる新土木技術については、随時、社員研修を行っている。						6.6								14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		土木工事に伴う、廃棄業者や取引先との連携により、ごみ削減やリサイクル製品の購入・利用を推進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		土木工事に際して、水資源の保全については配慮して行っており、生態系への影響も考慮して設計段階から工事を行っている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5				14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		会社での物品等の購入は、SSC認証のコピー用紙など、グリーン購入、リサイクル製品認証等を受けた商品、製品等の購入を優先して行っている。										9.4			12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7			13.1 13.3		15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		オフィス機材、車両、工事仕器も含め、高効率で省エネタイプの作業機器への切替を進めている。							7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●			土木工事の事業活動において環境保全を担っており、河川工事においてプラスチックごみ等の海洋への汚濁防止フェンス設置工事を行っている。												12.2 12.5		14						
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●													9.4		11.2		13.1 13.3						
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●			上記の通り、排出量の削減コントロールや山林での植林推進により、CO2排出実質ゼロに向けた取組みを行っている。							7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

